

A番台「安全で良質な水」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
運営 管理	水質 管理	A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	$(\text{最大カビ臭物質濃度} / \text{水質基準値}) \times 100$	この指標は、カビ臭物質濃度の最大値の水質基準に対する割合を表します。	0.8	20.0	20.0	30.0	40.0	(%)
		A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の総トリハロメタン濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	20.0	25.0	88.0	21.0	20.1	(%)
		A104	有機物 (TOC) 濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の有機物 (TOC) 濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、有機物 (TOC) 濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	22.0	33.3	21.7	24.3	21.4	(%)
		A105	重金属濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の当該重金属濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、重金属濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
		A106	無機物質濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の当該無機物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、無機物質濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	0.0	20.0	19.0	20.0	20.0	(%)
		A107	有機化学物質濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の当該有機化学物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	25	0	0	0	0	(%)
	A108	消毒副生成物濃度水質基準比率	$\Sigma (\text{給水栓の当該消毒副生成物濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} \times 100$	この指標は、消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を表し、この指標が低いほど、水道水の安全性が高いといえます。	0.0	36.7	133.3	33.3	33.3	(%)	
	施設 管理	A201	原水水質監視度	原水水質監視項目数	この指標は、原水の水質管理水準を表します。	0	184	184	184	181	(項目)
		A203	配水池清掃実施率	$(5\text{年間に清掃した調整池有効容量} / \text{調整池有効容量}) \times 100$	この指標は、調整池の有効容量に対する5年間に清掃した配水池の有効容量を表します。	188.0	31.0	0.0	100.0	100.0	(%)
	事故 災害	A301	水源の水質事故件数	年間水源水質事故件数	この指標は、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表します。	43	0	0	1	3	(件)
A302		粉末活性炭処理比率	$(\text{粉末活性炭年間処理水量} / \text{年間浄水量}) \times 100$	この指標は、原水のカビ臭発生時、水質事故等に対する対応を表します。	0.0	25.9	43.9	53.9	52.0	(%)	

B番台「安定した水の供給」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
施設 整備		B104	施設利用率	$(\text{一日平均配水量} / \text{施設能力}) \times 100$	この指標は、施設能力に対する一日平均配水量の割合を表し、経営効率化の観点から数値が高い方が良いが、施設更新や事故に対応できる一定の余裕が必要であるとされています。	48.2	69.9	73.1	73.9	74.3	(%)
		B105	最大稼働率	$(\text{一日最大配水量} / \text{施設能力}) \times 100$	この指標は、施設能力に対する一日最大配水量の割合を表し、数値が高い方が、施設が有効活用されているといえるが、施設更新を行う場合は一定の余裕が必要であるとされています。	55.0	77.9	80.4	82.0	80.5	(%)
		B106	負荷率	$(\text{一日平均配水量} / \text{一日最大配水量}) \times 100$	この指標は、一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を表し、数値が大きいかほど効率的であるとされています。	87.7	89.7	91.0	90.1	92.3	(%)
		B109	バルブ点検率	$(\text{点検したバルブ数} / \text{バルブ設置数}) \times 100$	この指標は、バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を表します。	17.8	21.4	30.0	26.8	23.4	(%)
		B112	有収率	$(\text{年間有収水量} / \text{年間配水量}) \times 100$	この指標は、年間配水量に対する年間有収水量の割合を表し、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表します。	100.0	99.1	99.2	99.4	99.0	(%)
		B113	配水池貯留能力	配水池有効容量 / 一日平均配水量	この指標は、一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を表し、数値が高いほど、安定性や事故への対応性が高いとされています。	0.44	0.43	0.41	0.41	0.40	(日)
		B117	設備点検実施率	$(\text{点検機器数} / \text{機械・電気・計装機器の合計数}) \times 100$	この指標は、機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を表し、設備の健全性確保に対する点検割合を表します。	48.9	44.2	51.7	51.3	50.5	(%)
	事故 災害 対策	B201	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数	この指標は、直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合を表し、施設の信頼性を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(件/10年・箇所)
		B204	管路の事故割合	管路の事故件数 / (管路延長/100)	この指標は、導・送・配水管の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、数値が小さいほど健全性が高いとされています。	1.3	2.9	0.0	0.9	3.1	(件/100km)
		B205	基幹管路の事故割合	基幹管路の事故件数 / (基幹管路延長/100)	この指標は、基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、数値が小さいほど健全性が高いとされています。	1.3	2.9	0.0	0.9	3.1	(件/100km)
		B206	鉄製管路の事故割合	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)	この指標は、鉄製管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、数値が小さいほど健全性が高いとされています。	0.0	2.9	0.0	0.6	3.1	(件/100km)
		B207	非鉄製管路の事故割合	非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100)	この指標は、非鉄製管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、数値が小さいほど健全性が高いとされています。	0.0	0.0	0.0	79.3	0.0	(件/100km)
		B210	災害対策訓練実施回数	年間の災害対策訓練実施回数	この指標は、災害対策訓練を実施した回数を表し、自然災害等に対する危機対応性を表します。	7	3	4	4	2	(回/年)

B番台「安定した水の供給」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
施設 整備	環境 対策	B301	配水量1m3 当たり電力消費量	電力使用量の合計 / 年間配水量	この指標は、配水量1m3当たり電力使用量を表し、省エネルギー対策への取組み度合いを表します。	0.27	0.26	0.25	0.26	0.28	(kWh/m ³)
		B302	配水量1m3 当たり消費エネルギー	エネルギー消費量 / 年間配水量	この指標は、配水量当たり消費エネルギー量を表し、省エネルギー対策への取組み度合いを表します。	2.28	2.21	2.08	2.14	2.40	(MJ/m ³)
		B303	配水量1m3 当たり二酸化炭素 (CO ₂) 排出量	[二酸化炭素 (CO ₂) 排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶	この指標は、年間配水量に対する総二酸化炭素 (CO ₂) 排出量を表し、環境保全への取組み度合いを表します。	72	112	91	113	97	(g・CO ₂ /m ³)
		B304	再生可能エネルギー利用率	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100	この指標は、再生可能エネルギー利用率を表し、環境負荷低減への取組み度合いを表します。※奈良県水道局では、太陽光発電、水力発電により発電を行っています。	13.41	13.70	13.94	12.85	10.01	(%)
		B305	浄水発生土の有効利用率	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100	この指標は、浄水発生土の有効利用率を表し、環境保全への取組み度合いを表します。	96.3	97.5	90.8	64.5	54.6	(%)
		B306	建設副産物のリサイクル率	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100	この指標は、建設副産物のリサイクル率を表し、環境保全への取組み度合いを表します。	37.0	71.6	76.4	89.0	86.7	(%)
	施設 管理	B401	ダクタイル鉄管・鋼管率	[(ダクタイル鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100	この指標は、全管路延長に対するダクタイル鉄管・鋼管率を表し、管路の母材強度を表します。	99.5	99.5	99.5	98.7	99.6	%
		B402	管路の新設率	(新設管路延長/管路延長)×100	この指標は、管路の新設率を表し、管路設備度合いを表します。※奈良県水道局では管路普及が進んでいるため、値が小さくなっています。	1.2	0.7	1.5	1.5	0.6	%
	施設 更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	(法定耐用年数を超過している浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	この指標は、全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過している浄水施設能力の割合を表し、施設の老朽化及び更新の取組み状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	%
		B502	法定耐用年数超過設備率	(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数 / 機械・電気・計装設備などの合計数) × 100	この指標は、機械・電気・計装設備などの合計数に対する法定耐用年数を超過している合計数の割合を表し、機器の老朽度及び更新の取組み状況を表します。	66.7	69.0	69.0	68.1	67.3	%
		B503	法定耐用年数超過管路率	(法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長)×100	この指標は、管路延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合を表し、管路の老朽度及び更新の取組み状況を表します。	42.9	42.9	42.2	44.2	46.1	%
		B504	管路の更新率	(更新された管路延長/管路延長)×100	この指標は、管路の更新率を表し、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	%
		B505	管路の更生率	(更生された管路延長/管路延長)×100	この指標は、管路の更生率を表し、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	%

B番台「安定した水の供給」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
施設 整備	事故 災害 対策	B602	浄水施設の耐震化率	$(\text{耐震対策の施された浄水施設能力}/\text{全浄水施設能力}) \times 100$	この指標は、浄水施設の耐震化率を表し、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表します。	80.9	100.0	100.0	100.0	100.0	%
		B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	$[(\text{沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力} + \text{ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力})/\text{全浄水施設能力}] \times 100$	この指標は、浄水施設のうち主要構造物の耐震化率を表し、地震対策が施されているかを表します。	80.9	100.0	100.0	100.0	100.0	%
		B603	ポンプ所の耐震化率	$(\text{耐震対策の施されたポンプ所能力}/\text{耐震化対象ポンプ所能力}) \times 100$	この指標は、ポンプ所の耐震化率を表し、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表します。	95.6	95.6	83.7	100.0	100.0	%
		B604	配水池の耐震化率	$(\text{耐震対策の施された配水池有効容量}/\text{配水池等有効容量}) \times 100$	この指標は、配水池の耐震化率を表し、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表します。	93.3	93.3	93.3	93.3	100.0	%
		B605	管路の耐震管率	$(\text{耐震管延長}/\text{管路延長}) \times 100$	この指標は、管路の耐震化率を表し、地震災害に対する管路の信頼性・安全性を表します。	62.3	62.6	63.2	64.3	64.1	%
		B606	基幹管路の耐震管率	$(\text{基幹管路のうち耐震管延長}/\text{基幹管路延長}) \times 100$	この指標は、基幹管路の耐震化率を表し、地震災害に対する管路の信頼性・安全性を表します。	62.3	62.6	63.2	64.3	64.1	%
		B606-2	基幹管路の耐震適合率	$(\text{基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長}/\text{基幹管路延長}) \times 100$	この指標は、基幹管路の耐震適合率を表し、B606（基幹管路の耐震管率）を補足する指標となります。	75.8	76.0	76.3	77.3	78.5	%
		B608	停電時配水量確保率	$(\text{全施設停電時に確保できる配水能力}/\text{一日平均配水量}) \times 100$	この指標は、一日平均配水量に対する全施設停電時に確保できる配水能力を表し、災害時・広域停電時における危機対応性を表します。	80.0	80.0	76.4	71.9	92.5	%
		B609	薬品備蓄日数	$(\text{平均凝集剤貯蔵量}/\text{凝集剤一日平均使用量})$ 又は $(\text{平均塩素剤貯蔵量}/\text{塩素剤一日平均使用量})$ のうち、小さい方の値	この指標は、浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を表し、災害時に対する危機対応力を表します。（小さい方の値） ※数値の定義：複数の浄水場がある場合、使用量・貯蔵量は合計値を用います。	41.9	40.9	41.8	29.8	28.6	日
		B610	燃料備蓄日数	平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量	この指標は、停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を継続できる日数を表し、災害時の対応力を表します。 ※数値の定義：複数の浄水場がある場合、使用量・貯蔵量は合計値を用います。	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	日

○番台「健全な事業経営」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
財務	健全 経営	C101	営業収支比率	$[(営業収益 - 受託工事収益) / (営業費用 - 受託工事費)] \times 100$	この指標は、営業収益の営業費用に対する割合を表し、水道事業の収益性を表します。	113.4	116.9	123.0	123.1	117.6	(%)
		C102	経常収支比率	$[(営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)] \times 100$	この指標は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを表し、水道事業の収益性を表します。	116.9	121.1	127.9	128.9	124.5	(%)
		C103	総収支比率	(総収益/総費用)×100	この指標は、総費用が総収益によってどの程度賄われているかを表し、水道事業の収益性を表します。	118.0	121.1	121.2	128.9	125.8	(%)
		C104	累積欠損金比率	[累積欠損金/(営業収益 - 受託工事収益)]×100	この指標は、受託工事収益を除く営業収益の対する累積欠損金の割合を表し、水道事業経営の健全性を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
		C105	繰入金比率（収益的収入分）	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100	この指標は、収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を表し、事業の経営状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
		C106	繰入金比率（資本的収入分）	(資本勘定繰入金/資本的収入計)×100	この指標は、資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を表し、事業の経営状況を表します。	94.8	99.0	39.0	43.7	79.4	(%)
		C107	職員一人当たり給水収益	給水収益/損益勘定所属職員数	この指標は、損益勘定職員一人当たりの給水収益を表し、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握ための指標となります。	187,138	182,678	184,861	193,788	159,333	(千円/人)
		C108	給水収益に対する職員給与費の割合	(職員給与費/給水収益)×100	この指標は、給水収益に対する職員給与費の割合を表し、水道事業の収益性を表します。	4.7	4.7	4.6	4.3	4.4	(%)
		C109	給水収益に対する企業債利息の割合	(企業債利息/給水収益)×100	この指標は、給水収益に対する企業債利息の割合を表し、水道事業の効率性及び財務安全性を表します。	8.8	7.6	6.6	5.7	5.1	(%)
		C110	給水収益に対する減価償却費の割合	(減価償却費/給水収益)×100	この指標は、給水収益に対する減価償却費の割合を表し、水道事業の収益性を表します。	60.0	58.2	54.4	52.7	53.5	(%)
		C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	(建設改良のための企業債償還元金/給水収益)×100	この指標は、給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を表し、建設改良のための企業債償還元金が経営に及ぼす影響を表します。	47.9	31.9	31.1	25.7	23.7	(%)
		C112	給水収益に対する企業債残高の割合	(企業債残高/給水収益)×100	この指標は、給水収益に対する企業債残高の割合を表し、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表します。	360.3	323.2	282.4	254.0	231.3	(%)
		C113	料金回収率	(供給単価/給水原価)×100	この指標は、給水原価に対する供給単価の割合を表し、水道事業の経営状態の健全性を表します。	119.1	124.1	131.7	133.2	128.1	(%)
		C114	供給単価	給水収益/年間有収水量	この指標は、有収水量1m3当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけ収益を得ているかを表します。	123.4	122.3	120.4	119.8	119.4	(円/m3)
		C115	給水原価	[経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不要品売却原価 + 附帯事業費 + 長期前受金戻入)] / 年間有収水量	この指標は、有収水量1m3当たりの経常費用（受託工事費等を除く）の割合を示すもので、どれだけ費用がかかっているかを表します。	103.6	98.6	91.4	89.9	93.2	(円/m3)
		C118	流動比率	(流動資産/流動負債)×100	この指標は、流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全性を表します。	364.9	439.0	501.1	604.4	561.0	(%)
		C119	自己資本構成比率	$[(資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益) / 負債・資本合計] \times 100$	この指標は、総資本（負債及び資本）に対する自己資本の割合を表し、財務の健全性を表します。	72.1	74.1	75.5	77.3	78.5	(%)
C120	固定比率	[固定資産/(資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] × 100	この指標は、自己資本に対する固定資産の割合を表し、財務の安定性を表します。	122.0	117.0	112.3	108.4	104.5	(%)		
C121	企業債償還元金対減価償却費比率	(建設改良のための企業債償還元金/当年度減価償却費)×100	この指標は、当年度減価償却費に対する企業債償還元金を表し、投下資本の回収と再投資との間のバランスを表します。	102.0	69.9	73.3	63.0	57.3	(%)		

〇番台「健全な事業経営」に関する指標

分類	区分	番号	業務指標	定義	指標の解説	H28	H29	H30	H31	R2	単位
財務	健全経営	C122	固定資産回転率	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$	この指標は、固定資産（年度平均）に対すう営業収益の割合を示すものであり、1年間に固定資産額の何倍の営業収益があったかを示します。	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	(回)
		C123	固定資産使用効率	年間配水量/有形固定資産	この指標は、有形固定資産に対する年間総配水量の割合を表し、施設の使用効率を表します。	8.8	9.5	10.2	10.5	10.8	(m3/万円)
組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数	この指標は、職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示します。	0.82	0.78	0.76	0.78	0.58	(件/人)
		C202	外部研修時間	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \times \text{受講人数}) / \text{全職員数}$	この指標は、職員一人当たりの外部研修の受講時間を表し、技術継承や技術向上への取組み状況を表します。	28.2	32.4	24.9	26.0	14.9	(時間/人)
		C203	内部研修時間	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \times \text{受講人数}) / \text{全職員数}$	この指標は、職員一人当たりの内部研修の受講時間を表し、技術継承や技術向上への取組み状況を表します。	1.7	3.5	3.1	2.3	1.2	(時間/人)
		C204	技術職員率	$(\text{技術職員数} / \text{全職員数}) \times 100$	この指標は、全職員に対する技術職員の割合を表し、技術面での維持管理体制を表します。	76.4	75.7	76.0	75.3	76.6	(%)
		C205	水道業務平均経験年数	職員の水道業務経験年数 / 全職員数	この指標は、全職員の水道業務平均経験年数を表し、人的資源として専門技術の蓄積度合いを表します。	10.1	8.9	8.8	6.8	6.3	(年/人)
	業務委託	C302	浄水場第三者委託率	$(\text{第三者委託した浄水場の浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	この指標は、全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を表し、第三者委託の導入状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
コミュニケーション	情報提供	C402	インターネットによる情報の提供度	ウェブページへの掲載回数	この指標は、インターネット（トップページ）による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表します。	20	16	9	5	12	(回)
		C403	水道施設見学者割合	見学者数 / (現在給水人口/1,000)	この指標は、給水人口に対する水道施設見学者の割合を表し、利用者との双方向コミュニケーションの推進度合いを表します。	1.5	1.7	1.8	1.6	0.0	(人/千人)
	意見収集	C502	アンケート情報収集割合	アンケート回答人数 / (現在給水人口/1,000)	この指標は、給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を表し、利用者のニーズの収集実行度を表します。	0.52	0.53	0.53	0.43	0.00	(人/千人)
		C503	直接飲用率	$(\text{直接飲用回答数} / \text{アンケート回答数}) \times 100$	この指標は、水道水を飲料とする利用者の割合を表し、水道水の飲み水として評価を表します。	84.0	84.0	79.5	83.4	-	(%)

CI番台「各種プロフィール」に関する情報

分類	区分	番号	業務指標	定 義	H28	H29	H30	H31	R2	単位
水道事業体の プロフィール		CI1	給水人口規模	現在給水人口	1,275,599	1,269,644	1,269,644	1,257,498	1,253,398	(人)
		CI2	全職員数	全職員数	72	74	75	73	77	(人)
システムの プロフィール		CI3	水源種別	-	ダム放流：御所浄水場 ダム直接：桜井浄水場	ダム放流：御所浄水場 ダム直接：桜井浄水場	ダム直接、ダム放流	ダム直接、ダム放流	ダム直接、ダム放流	-
		CI5	給水人口1万人当たりの浄水場数	浄水場数 / (現在給水人口/10,000)	0.02	0.02	0.02	0.00	0.02	(箇所/ 10,000人)
		CI6	給水人口1万人当たりの施設数	(浄水場数+送・配水施設) / (現在給水人口/10,000)	0.10	0.10	0.11	0.02	0.13	(箇所/ 10,000人)
地域条件の プロフィール		CI9	単位管延長	導送配水管延長 / 現在給水人口	0.24	0.24	0.25	0.13	0.26	(m/人)